

新規
オプション
検査

消化器がんが気になる方に

血液による消化器がんスクリーニング

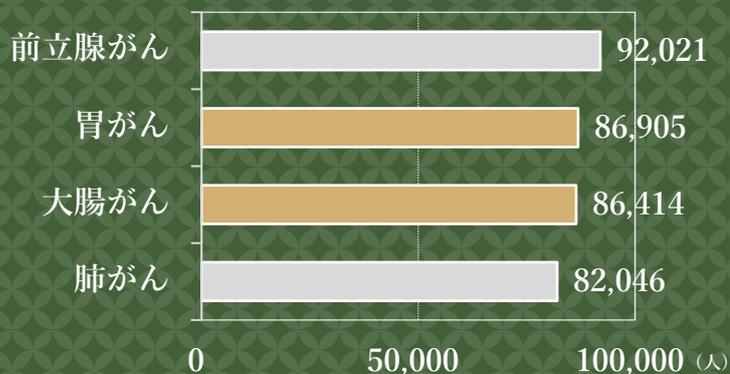
マイクロアレイ血液検査

がんの部位別の罹患数をみると、男性では胃がん2位・大腸がんが3位、女性では大腸がん2位・胃がんが3位で、男女ともに消化器がんは上位を占めています。また膵臓がんは5年生存率ワースト1と言われており、男性は7.1%、女性は6.9%と非常に生存率が低いがんです。

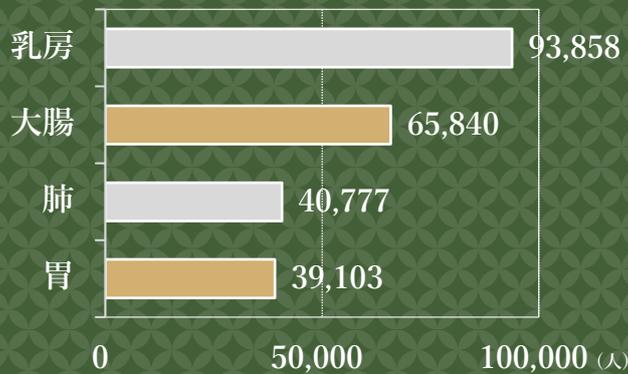
消化器がんを初期の段階で発見することができれば、生存率は高くなります。早期発見、早期治療が非常に重要です。

部位別がん罹患数（2021）の上位4部位

男性



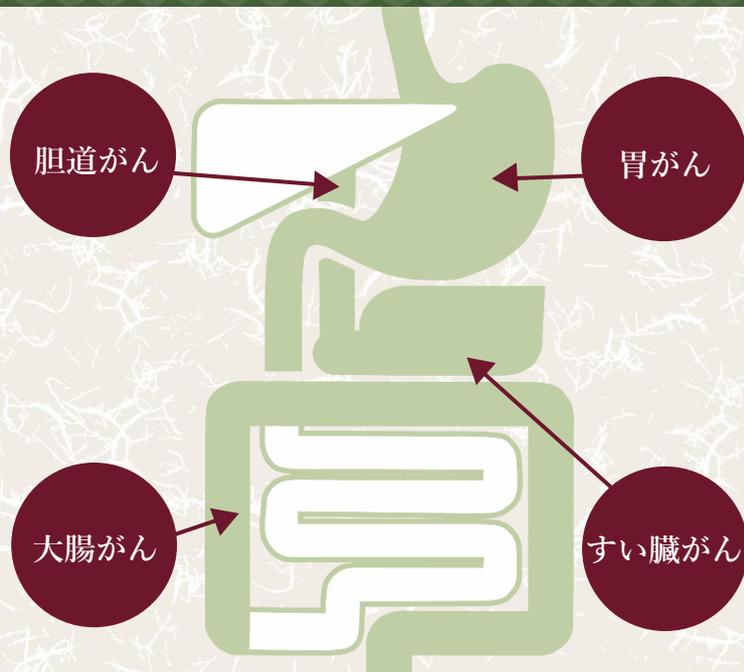
女性



資料：独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター

体内でがん細胞が発現・活性化すると、末梢血液細胞中にがん攻撃のために特異的なm-RNAが反応・発現します。マイクロアレイ血液検査では、m-RNAの発現プロファイルを捉えて解析することで、消化器がんのリスクを調べる検査です。

胃がん・大腸がん・すい臓がん・胆道がんの4種のがんをお調べいたします。4種のがんの有無についての感度・特異度は90%を超えており、高い精度で判別を行うことが可能です。



マイクロアレイ血液検査の特徴

高い感度

9割の感度で
消化器のがんを発見

簡単な検査方法

5.0ccの血液を
採取するだけ

安心の検査方法

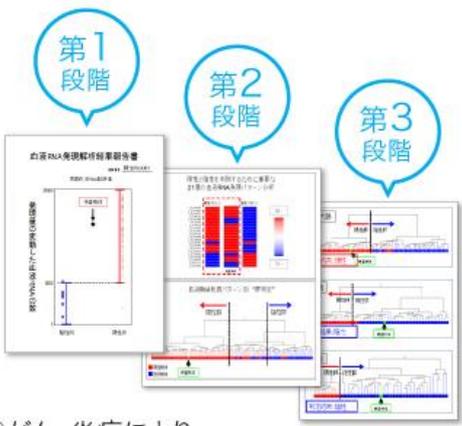
X線の被ばくが
ありません

同時に検査可能

4つの消化器がんを
同時に検査できる

— 報告書サンプル —

マイクロアレイ血液検査は3段階の解析を行い、各がんのリスクを判定しております。



①がん・炎症により
②消化器がんにより
③各臓器のがん症例のRNAの発現パターン

検査結果報告書

検体番号 AAAA-BBBB-.....

判定結果は陰性です

末梢血液中のRNA発現パターンを解析いたしました。

- ・変動しているPNAの数:「陰性」
- ・21遺伝子のパターン分析:「陰性」
- ・クラスタリング解析:「陰性」
- ・判定基準表:「陰性」

詳細判定結果

- ・胃癌/大腸癌:「陰性」
- ・膵臓癌:「陰性」
- ・胆道癌:「陰性」
- ・消化器癌有無の判定:「陰性」

陰性例と偽陰性例の判定:「陰性」

※最終判定:「陰性」

引き続き定期的な検診による健康管理を受診者様にお勧めください。

- ①がん・炎症により変動する2,665種のRNA発現量
- ②消化器がんにより変動する21種のRNA発現量
- ③各臓器のがん症例のRNAの発現パターン

<検査に関する注意点>

- ※ この検査は保険適用外検査です。
- ※ この検査で遺伝病などに関わる遺伝子情報が知られることはありません。
- ※ 他検査の結果と併せて今後の検査・治療方針の検討にお役立て頂くことをおすすめいたします。

ご予約に関する
お問い合わせはこちら

ふなもとクリニック

TEL : 0798-81-1192

検査のご料金

000,000円 (税込)